

科目名 (英)	導入教育 First Year Experience	年次	1	実務経験	担当	太田 亜貴子/安中 松太郎
		授業形態	講義			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	30	開講区分	前期	
		単位	2			
講師紹介	社会人経験豊富な職員が、就職活動に向けてコミュニケーションスキルや社会人に必要な知識を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	目的意識を高め、プロに必要なことが何か確認する。同じ目標を持った仲間との相互支援環境を作る					
到達目標	プロの職業人になるために必要な業界知識や流れを理解し、安心、安全な場を作る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書				事前事後 学習と その内容	●スケジュール確認は毎回実施をします(メモを取る習慣作り) ●体調管理の徹底 →担任授業ではスケジュールの確認だけでなく、就職、学校行事、連絡事項など重要事項をお伝えします。体調管理を徹底して欠席しないように気を付けましょう。	
教材	手帳(スケジュールがわかるもの)・筆記用具					
特記事項	必要事項は必ずメモを取るように意識をする					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	美容のプロを目指す上で① -振り返りと個人目標設定-	オリエンテーションや導入教育を振り返り、目標を再確認する。 目標に向けてカリキュラムの必要性を明確化し、理解することができる。 ITリテラシー実施
2	美容のプロを目指す上で② -学校ルールの再確認と業界研究-	学校ルールを再確認し、スムーズに学校生活を送れるようにする。 業界研究について学び、将来の準備ができるようになる。
3	職業研究	ヘアメイクアップアーティストの仕事内容を理解する
4	業界研究①	ヘアメイクになる為の流れを理解し、方法を学ぶ
5	業界研究②	ヘアメイク事務所の調べ方を学び、業界の知識を深めることができる
6	現場実習について	現場実習の流れやルールを理解し、実習に必要な社会的マナー・主体性・コミュニケーション力を身に付けることができる
7	中間試験	入学してからを振り返り、学んだこと・今後身に付けていきたいことをまとめる
8	美容のプロを目指す上で③ -現場実習と今後の目標設定-	入学時の目標を振り返り、現時点での目標を再設定する 現場実習についての注意点を確認し、現場実習に臨む心構えが出来るようになる
9	プロの職業人を目指すにあたって①	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
10	プロの職業人を目指すにあたって②	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
11	夏休みにあたっての注意事項	長期休暇を過ごすにあたり、今後やるべきことを整理する コンテストについて
12	グループ学習(夏休み課題の振り返り)	グループ学習を通して、発表する力を身に付ける 職業理解を深めるために、体験学習の意図を理解し主体的に授業に参加する
13	プロの職業人を目指すにあたって③	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する
14	業界研究③	ヘアメイク業界について、様々な視点から調べ、業界を理解する
15	定期試験	入学してからを振り返り、後期に向けやるべきことを整理する

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道 I Career Development I	年次	1	実務経験	担当	太田亜貴子
		授業形態	講義			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	30	開講区分	前期	
		単位	2		曜日・時間	木4
講師紹介	化粧品企業に入社後、ビューティアドバイザーとして都内百貨店で10年間勤務。セクションマネージャーとして店舗運営、美容部員育成にも携わる。ベルエポックでは業界経験を活かし、メイク・ファッション系の担任として学生サポート、就職指導を行う。					
目的 科目概要	業界および職種について理解を深め、自分の目指す職業像を明確にする。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	プロの職業人を目指すにあたり、美容業界に必要な基礎知識・業界情報を理解し、自分が目指す職業選択を決定する。仲間とのコミュニケーションを深め、自分から「笑顔であいさつ」ができるようになっている。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	Hand-book of Life Style	事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。			
教材	手帳・Hand book of Life style					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に着けよう)					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	導入教育の振り返りとインターネットマナーについて	導入教育の振り返り、東ベルに入学した目的と自分の目標を再度確認する。インターネットマナーを学び、ITリテラシーについて知る。(小テスト2点)
2	個人とクラスの目標	1年後の自分、クラスを創造し目標を決める。その目標についてどのように取り組むかを自分たちで決める。GWの過ごし方について。(小テスト2点)
3	プレゼンテーション力を身につける	グループワークを通して、自分の意見を伝えること・他者の意見を吸収することを学ぶ。就職活動でも重要視されるプレゼンテーション力の基礎を学ぶ。(小テスト2点/課題2点)
4	夢を実現するための習慣を知る	【Hand book of Life style】教科書使用。夢を実現するための習慣と専門学校生活での大切な単位、成績について改めて学ぶ。(小テスト2点)
5	職業研究①	この学科で目指せる職種について理解する。クラス会議①(ビューティアドバイザー、エステティシャン、ファッションアドバイザー、ネイリスト等)(小テスト2点)
6	職業研究②	この学科で目指せる職種についてさらに深く理解し、後期からの専攻授業を知る。(小テスト2点)
7	中間試験	入学してから振り返り、学べたこと・今後身につけていきたい事をまとめる。(中間試験20点)
8	就職活動・現場実習に向けて今から準備すること、重要事項を知る	就職・実習に向けて今から準備すること、重要事項をクラスで話し合う。クラス会議②(小テスト2点)
9	プロの職業人を目指すにあたって①	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する。(小テスト2点)
10	プロの職業人を目指すにあたって②	プロの職業人を目指すにあたっての必要な知識を吸収する。(小テスト2点)
11	夏休みにあたっての重要事項	長期休暇を使って、準備しておきたい項目を理解する。夏休みの課題について(小テスト2点)
12	プレゼンテーション力を磨く	グループワークを通して、自分の意見を相手にわかりやすく伝えることを学ぶ。就職活動でも重要視されるプレゼンテーション力を磨く。(小テスト2点/課題2点)
13	アンガーマネジメント	アンガーマネジメントを体験することで、自分自身をセルフコントロールできるようになる。(小テスト2点)
14	半年間の振り返り	わからない分野の洗い出しをし、必要な知識の整理をする。クラス会議③整理をすることで自分自身の課題を見つけ、今後の卒業までの目標を改めて考える。(小テスト2点)
15	定期試験	美容業界で自分が目指す職業人についての知識をアウトプットすることが出来る。半年間の振り返りも同時に行う。(定期試験60点)

科目名 (英)	おもてなし Omotenashi	年次	1	実務経験	担当	石田智子
		授業形態	講義			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	30	有	開講区分	前期
		単位	2			
講師紹介	百貨店などの接客サービスの現場経験をもつ講師が、実体験を交えた講義を行う。個人技に近い「おもてなし」を自分自身で学び取るために、グループワークを取り入れた体験参加型の講義を行うので、毎授業積極的に参加すること。					
目的 科目概要	接客業に携わるうえで、自分と自分の仕事に自信を持ち、お客さまとのコミュニケーションが得意で、お客さまのさまざまな要求や課題、問題に対処して解決できる社会人基礎力に優れた「おもてなしのプロ」を目指す。					
到達目標	資格検定教本を通して「おもてなしの心」「型とスキル」を体系的に学び、「おもてなしマスター」資格を取得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	おもてなしマスター資格検定教本		事前事後 学習と その内容 おもてなしのプロとしてふさわしい、笑顔、挨拶、姿勢、言葉づかいを常に意識すること			
教材						
特記事項	毎授業「教本」「筆記用具一式」を必ず持参すること。決められた座席に着席し、グループワーク等の際には速やかに席移動すること。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	科目オリエンテーション	講師自己紹介 科目オリエンテーション(授業ルール、評価、資格検定試験についてなど)
2	おもてなしとは何か・おもてなしの背景	日本におけるおもてなしの背景と事例紹介 グループワーク「おもてなし」とは何か
3	おもてなしの心3つと基本となる型	教本におけるおもてなしの心3つの解説と5つの型
4	型1 事前調査	事前調査の必要性 事前調査において「傾聴スキル」がなぜ必要かの解説とワーク
5	型2 時間管理	時間管理とは何か グループワーク「待った感」を感じさせない工夫
6	型3 環境設定	五感と季節を意識した、お客さまにとっての空間準備について考える
7	中間試験	中間試験実施、終了後の解説解答から自身の課題を抽出する
8	型4 場面演出	場面演出の目的とイベント演出、お客さまに演出内容をプレゼンテーションする グループワーク「わたしのオススメ」(プレゼンテーション)
9	型5 変化対応①	アサーション4つのタイプの解説とセルフチェック
10	型5 変化対応②	ポジティブシンキング、ストレスマネジメントについて グループワーク「ポジティブシンキング」
11	5つのどの型にも有効な共通スキル①	共通スキル(なぜなぜシンキング、KJ法)とは
12	5つのどの型にも有効な共通スキル②	共通スキル(エゴグラム、コーチング)とは
13	振り返り・まとめ	おもてなしマスター検定試験に合格するための、最終的な準備
14	過去問題及び記述問題対策	過去問題に取り組み自己採点する、課題を抽出する 記述問題対策に取り組み
15	定期試験(おもてなしマスター検定試験)	おもてなしマスター検定試験に合格する

科目名 (英)	メイクアップ総論 I General Make up I	年次	1	実務経験	担当	福島 裕司
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			
講師紹介	美容業界で20年以上関わってきました。CMや舞台、雑誌のヘアメイクなど、お客様のキレイの基準向上に取り組みんでいる。セミナーや教育など様々な現場で美の提供をしながら活動している教員が、美容のスペシャリストを育成する為、美容知識、技術、経験の基礎と応用を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	目的:メイクアップに関するマナー、専門知識、ナチュラルメイクの基礎的な技術を学ぶ。 科目概要:メイク基礎を学びJESCメイクアップアーティスト検定に合格できるようになる。					
到達目標	正しいメイクアップのマナーとセッティングの仕方を習得する 正しい化粧品の使用方法を理解し、限られた時間内でナチュラルメイクを仕上げることができる。 パーツごとにナチュラルメイクの正しい技術を習得することができる。バランスの良いナチュラルメイクを仕上げることができる					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	Make up foundation 1	事前事後 学習と その内容	講義、演習がメインとなる授業となる為遅刻欠席は出来るだけせず、復習をしっかりして授業に臨んで欲しい。 美容業界は流行の流れが速い為、常に雑誌やネットで情報を調べて予習しておく事。演習後は技術の復習をし、より確実に身に着ける事が望ましい。			
教材	学校指定のメイクアップ教材					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・美容基礎	道具の扱い方・並べ方などデモンストレーション スキンケア実習を学んで実習出来るようになる
2	クレンジング～スキンケア～ベースメイク	クレンジング～スキンケアまでの手順のやり方を覚え、スキンケアまで出来るようになる
3	ベースメイク①	スキンケア～ファンデーション～コンシーラー～フェイスパウダーまでの 手順とやり方を覚えメイクアップすることが出来るようになる
4	ベースメイク② アイブロウメイク①	前回の復習とアイブロウの手順とやり方を覚え、メイクアップすることが出来るようになる
5	アイブロウテクニック②	アイブロウテクニックまでのやり方を覚える ペンシルタイプ・パウダータイプの特徴を知りメイクアップすることが出来るようになる
6	アイブロウテクニック③ アイメイクテクニック①	アイブロウテクニック～アイメイクテクニック アイブロウ復習・アイシャドウの入れ方を学びメイクアップすること出来るようになる
7	中間試験	スキンケア～ベースメイク・アイブロウメイク 30分 アイブロウイラストテスト
8	アイメイクテクニック②	アイシャドウ～アイライン～ビューラー～マスカラまでの 手順とやり方を覚え、メイクアップすることが出来るようになる
9	アイメイクテクニック③ リップテクニック①	前回の復習とリップテクニック リップの入れ方、種類、手順とやり方を覚え、メイクアップすることが出来るようになる
10	リップテクニック② チークテクニック①	前回の復習とチークテクニック チークの入れ方、種類、手順とやり方を覚え、メイクアップすることが出来るようになる
11	フルメイク① メイクアップリズムを学ぶ	フルメイクを行いメイクアップのバランスを学ぶことが出来るようになる
12	フルメイク② 筆記対策① テクニック確認・手直しを学ぶ	バランスを意識しながらフルメイクを行い テクニック確認・手直しを学ぶことが出来るようになる
13	カラーメイク 筆記対策② 手直しを学ぶ・時間内に収める	自分が選んだ色彩でフルメイクを仕上げることが出来るようになる
14	フルメイク③ 筆記対策③ ナチュラルメイク 30分	時間内にフルメイクを仕上げ、技術的にも向上することが出来るようになる
15	定期試験	フルメイク30分

科目名 (英)	ヘアメイク I hair make I	年次	1	実務経験	担当	足立 祐希
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	火3・4
講師紹介	雑誌、広告媒体の仕事を多くこなす現役ヘアメイクアップアーティストによる現場実践型の授業を行います。					
目的 科目概要	美を提供するものとして、自分を美しくする。メイクを施術するにあたり、ヘアも合わせて提案できるとお客様の信頼を得られる他、様々なジャンルの美容の仕事でトータルでコーディネート出来るようになる。					
到達目標	ヘアの基本技術を習得し、セルフ、アイモデルにてベーシックスタイルが作れるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 □ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	なし		事前事後 学習と その内容	授業時は必ずメモをとり、必ず復習をすること。		
教材	ヘア道具一式					
特記事項	授業時はエプロンを着用のこと					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	テーブルセッティングを美しくする	道具の名称、使用用途、方法をしっかり覚え、美しいテーブルセッティングが出来るようになる
2	コテ巻き	ウイッグにて内巻き、外巻き、ミックス巻きを覚える
3	ピニング	ウイッグにて基本の5点どめのプロセス、強度のある仕上がりで出来るようになる
4	編み込み	ウイッグにて基本の表、裏、片編み込みが出来るようになる
5	セルフアレンジ1	コテ巻き、編み込みを使って美しくセルフアレンジが作れるようになる
6	ツイストハーフアップ	ウイッグにてツイスト技術を学び美しいハーフアップが作れるようになる
7	中間試験 (ツイストハーフアップ30分)	30分以内に美しいハーフアップをウイッグにて作れるようになる
8	セルフアレンジ2	就職に向け、セルフで美しい夜会巻きが作れるようになる
9	セルフアレンジ3	短時間でより美しい夜会巻きがセルフで作れるようになる
10	ポニーテールアレンジ	黒ゴムの基本の使い方を学びウイッグにて美しいポニーテールアレンジが作れるようになる
11	ルーズアップ	ウイッグにてルーズアップを作れるようになる
12	アイモデルアレンジ1	アイモデルにて美しくルーズアップが作れるようになる
13	定期試験に向けたデッサンシートの作成	学んできた基礎技術を元に作りたいスタイルを考えデッサンシートを作成する
14	定期試験に向けた練習	ヘアの技術練習
15	定期試験(アイモデルにて美しく髪型を作る)	アイモデルにて美しいスタイルを作る

科目名 (英)	フェイシャルエステ Facial Esthetics	年次	1	実務経験	担当	峯崎 千恵美
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4			
講師紹介	国内外のエステサロンで勤務経験を積み、10年以上専門学校で指導してきた教員がフェイシャルトリートメントを行う上で必要な知識と技術を丁寧に分かりやすく教える。トリートメントを行うことで、肌や心がどのように変化するのか体感しながら授業に参加してほしい。					
目的 科目概要	目的:ハンドマッサージとフェイシャルエステの基礎理論と基礎技術を身につける。 概要:ハンドマッサージ、クレンジング、フェイシャルマッサージ、ヘッドマッサージを正確に行うための理論と実技を学ぶ					
到達目標	ハンドマッサージの心地よい刺激で、モデルのコリをほぐしリラックスさせることが出来る。 汚れを残すことなく肌に負担をかけずにクレンジングが出来る。 フェイシャルマッサージの6手技を習得し、正確にマッサージが出来る。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書						
教材	プリント適宜配布	事前事後 学習と その内容	事前にコマシラバスを確認し、忘れ物をしない。 授業内容は必ず復習し、理解した上で次の授業に参加すること。			
特記事項	配布資料はファイルにまとめ毎授業持参すること。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	トリートメントの概要 事前準備の仕方	この授業の概要と進め方について、エステティックとは ワゴン、ベットセッティングの仕方、ホットタオルの作り方、手指消毒の仕方
2	ハンドマッサージ理論 ハンドマッサージ①	ハンドマッサージの目的効果、禁忌事項、注意事項を学ぶ ハンドマッサージの技術を習得する
3	カウンセリングと接客マナー ハンドマッサージ②	カウンセリングの方法と心の変化を理解する ハンドマッサージの技術を効果的に行う
4	フェイシャル基礎理論 クレンジング①	クレンジングの目的と手法について、クレンジングに必要な用具、備品の説明 モデルの誘導、ターバンの巻き方、ポイントメイク落としの技術を習得する
5	皮膚のしくみと働き クレンジング②	皮膚の役割と構造(表皮) ベースメイククレンジング、スポンジ拭き取りの技術を習得する
6	皮膚のしくみと働き クレンジング③	皮膚の構造(真皮、皮下組織、皮膚の付属器) クレンジング～スチームタオル拭き取り技術を習得する
7	中間試験	1～6回までの授業の理解度を確認する
8	マッサージの基礎知識 フェイシャルマッサージ①	マッサージの目的効果、禁忌事項、基本6手技の手法と効果、マッサージに関する骨・筋肉 マッサージ剤塗布～軽擦法の技術を習得する
9	肌タイプについて フェイシャルマッサージ②	肌タイプの種類と特徴 マッサージ強擦法、揉擦法の技術を習得する
10	美しい肌について フェイシャルマッサージ③	紫外線について、美しい肌の条件とは マッサージ打法、振動法、圧迫法の技術を習得する
11	肌トラブルの原因と対策 クレンジング～マッサージ①	ニキビの種類、要因、対策と毛孔の開きの要因 クレンジング～マッサージまでの流れを覚える
12	肌トラブルの原因と対策 クレンジング～マッサージ②	シミの種類、要因、対策 クレンジング～マッサージまでを効果的に行う
13	ヘッドマッサージ理論 ヘッドマッサージ①	ヘッドマッサージの効能、禁忌事項を学ぶ ヘッドマッサージの技術を習得する
14	肌トラブルの原因と対策 ヘッドマッサージ②	シワとたるみの種類、要因、対策 ヘッドマッサージを効果的に行う
15	定期試験	8から14回までの授業の理解度を確認する

科目名 (英)	セルフビューティー self beauty	年次	1	実務経験	担当	CAA(鷺塚・福田)
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4			曜日・時間
講師紹介	ヘアメイク事務所に所属しヘアスタイリスト、撮影現場、舞台や大手化粧品ブランドのヘアメイクアーティストとして活躍中					
目的 科目概要	スキンケア～メイクまでの基礎的技術を習得する。自己分析をすることによりメイクの基本を学ぶ。					
到達目標	メイク技術を向上させ、自己分析をすることによりセルフメイクの基本を学ぶ					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書						
教材	学校指定のメイクアップ教材	事前事後 学習と その内容	メイク工程やプロセスを次回授業でも復習できるように毎回ノートをとること			
特記事項	授業前にメイク道具をセッティングしておくこと					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	スキンケア・ブラシの種類	スキンケアの目的・種類・手順・メイク前のマッサージ/メイク用ブラシの種類・使い方
2	ベースメイク・アイブロウ	下地・ファンデーション・パウダー・コンシーラーの使い方、アイブロウの基本
3	アイブロウ・チーク・リップ	アイブロウ復習・アイブロウバリエーション・チークの入れ方・リップの入れ方
4	アイメイク	アイシャドウ・アイライン・ビューラー・マスカラの使い方
5	ブランド研究・デザインシート	化粧品ブランドについて学ぶ、デザインシートの描き方
6	中間試験練習	中間試験に向けた解説・模擬
7	中間試験	スキンケア～フルメイク、デザインシート作成、ブランドイメージメイク
8	パーツ分析	直線(きつね顔)、曲線(たぬき顔)
9	パーツ分析	顔のパーツの配置分析・配置における印象チェンジ方法
10	パーソナルカラー診断	パーソナルカラー理論を学ぶ、診断を体感する
11	春・夏メイク	パーソナルカラー春・夏のメイクをする
12	秋・冬メイク	パーソナルカラー秋・冬のメイクをする
13	就活メイク	TPOに応じたナチュラルメイクを学ぶ
14	期末試験練習	期末試験に向けた解説・模擬
15	期末試験	自分のパーソナルカラーを取り入れた就活メイクをする

科目名 (英)	ファッション総合 I Fashion I	年次	1	実務経験	担当	イサムちゃん
		授業形態	演習			
		時間数	60			
学科・コース	メイクアップ学科	単位	4	有	開講区分	前期
					曜日・時間	木1・2
講師紹介	キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドでショップ店員また2013年からスタイリストとして活動中、雑誌やCMIに舞台など衣装を幅広くやっています。またモデル育成やウォーキング講師なども行なっている。					
目的 科目概要	ライフスタイルにファッションは必ずしも関わっている、ファッションを通じてクライアントとのコミュニケーションツールとしてパーソナルスタイリングや企画などに行えるようにテクニックを習得するのはファッション業界だけではなく美容業界にも必要な基本知識である。					
到達目標	ファッションを通じてトレンドのコーディネートやパーソナルコーディネートまたトレンドを自ら企画そして発信していく事ができる。					
評価方法	学期に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学期に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることが <input checked="" type="checkbox"/> 筆記試験 <input checked="" type="checkbox"/> 実技試験 <input type="checkbox"/> 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材						
特記事項						

授 業 計 画		
回数	授業テーマ	授業内容
1	ファッションとは	ファッションとは何かを学ぶ。
2	パーソナルスタイリング①	ベーシックアイテムを使って基本のスタイリング技術を学ぶ。
3	パーソナルスタイリング②	ベーシックアイテムを使ったスタイリングのシーズン別のスタイリング技術を学ぶ。
4	パーソナルスタイリング③	体型べつコンプレックス別のスタイリング技術を学ぶ。
5	トレンド&スタイル	トレンドとスタイルの違いを学ぶ。
6	トレンド&スタイル②	トレンドの発信元を調べるまたリサーチ能力を学ぶ。
7	中間試験	今までの振り返り。
8	ウォーキング&ポージング	接客や普段の動作で綺麗な所作を学ぶ。
9	ウォーキング&ポージング②	ポージングを覚えてカメラワークでポージング指示などを学ぶ。
10	セルフプロデュース	SNSでの自己発信のまたプロモーション技術を学ぶ。
11	セルフプロデュース②	SNSでの自己発信またプロモーション技術を学ぶ。
12	パーソナルスタイリング④	レディースとメンズのスタイリングテクニックの違いまたテクニックを学ぶ。
13	パーソナルスタイリング⑤	TPO別のスタイリングテクニックを学ぶ。
14	今までの振り返り	今までの復習をし、テストに向けてプランニングをする。
15	定期試験	定期試験

科目名 (英)	ネイルケア&アート Nail care & art	年次	1	実務経験	担当	殿村雅子・阿部知美
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	金 1・2
講師紹介	木下ユミメイクアップ&ネイルアトリエ所属のネイリストとして現場の経験を活かし技術指導を行う。					
目的 科目概要	ネイリスト技能検定3級の試験に合格するための理論と技術を習得。デモを取り入れ、基本である道具の準備、実技や接客の手順・テーブル回りのセッティングを学ぶ。ネイリスト技能検定3級に合格するためのネイルケアカラーを理解し、3級スタイルを覚え内容を把握して受講してほしい。ペイントアートをマスター出来るようケアカラーやアート総合タイムトライアルを取り入れ、検定直前には模擬試験を実施。全生徒が合格できるよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	ネイリスト技能検定3級の実技を学び、試験合格レベルに達するよう技術を習得。 相モデルを取り入れたトレーニングを行う。 中間試験と期末試験のタイムトライアルで時間も意識していく。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	教科書 【プリント(補助教材)】 随時配布			事前事後 学習と その内容	技術・教科書の予習・復習をすることが望ましい。	
教材	ケアカラー・道具、アート道具					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ネイルケアカラーを理解する	【授業形態】講義・実習 【到達目標】使用教材を覚える。手順・セッティングを覚える。デモ。 【履修確認】小テスト2点 (セッティング)
2	ケアの徹底トレーニング・概論 (歴史、爪の構造)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニングでケアを学ぶ。ポイントデモ。 【履修確認】小テスト2点 (仕上がり)
3	カラーリング徹底トレーニング・概論 (爪の病気とトラブル)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ペーパーカラーと相モデルトレーニングでカラーリング、修正を覚える。ポイントデモ。 【履修確認】小テスト2点 (仕上がり) + 課題点 2 点 (ペーパーカラー)
4	検定3級スタイルを覚える。	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ネイル検定3級内容を理解する。要項説明、実技採点基準ポイントを把握する。 【履修確認】小テスト2点 (検定3級スタイル)
5	ケアカラー・概論 (消毒法)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニングでケアカラーを通して学ぶ。 【履修確認】小テスト2点 (仕上がり)
6	ケアカラー・概論 (生理解剖学、皮膚科学)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニングでケアカラーを通して学ぶ。 【履修確認】小テスト2点 (仕上がり)
7	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】相モデル ケアカラー (70分) 【履修確認】中間試験20点
8	ケアカラー復習	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルでケアカラートータルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
9	ペイントアートをマスターする・概論 (色彩学)	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ストローク練習とチップトレーニングを実施し検定課題である「フラー」アートをマスターする。デモ。【履修確認】小テスト2点 + 課題点 2 点
10	ケアカラー、アート総合タイムトライアル	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルでケアカラートータルトレーニング。《タイムトライアル》 【履修確認】小テスト2点
11	検定3級直前の模擬試験	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルで3級内容のタイムトライアル。ポイントデモ。 【履修確認】小テスト2点
12	検定実技報告	【授業形態】講義・実習 【到達目標】出来たところと出来なかったところを自己採点。相モデルトレーニング。《タイムトライアル》 【履修確認】小テスト2点
13	コンテスト対策ケアカラー	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ケアカラー復習。相モデルで3種塗り分け (マット、パール、シアー) デモ。 【履修確認】小テスト2点
14	コンテスト対策ケアカラー	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルでコンテスト向けケアカラータイムトライアル。 【履修確認】小テスト2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】ケアカラー (70分) 【履修確認】期末試験 50点

科目名 (英)	プロフェッショナルへの道Ⅱ Career Development Ⅱ	年次	1	実務経験	担当	太田亜貴子
		授業形態	講義			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	30	開講区分	後期	
		単位	2		曜日・時間	A組(火2)B組(火1)
講師紹介	化粧品企業に入社後、ビューティアドバイザーとして都内百貨店で10年間勤務。セクションマネージャーとして店舗運営、美容部員育成にも携わる。ベルエポックでは業界経験を活かし、メイク・ファッション系の担任として学生サポート、就職指導を行う。					
目的 科目概要	業界および職種について理解を深め、自分の目指す職業像を明確にする。またプロになるために必要な自己管理、身構え、気構え、心構えを身につける。					
到達目標	プロの職業人を目指すにあたり、美容業界に必要な基礎知識・業界情報を理解し、自分が目指す職業選択を決定する。仲間とのコミュニケーションを深め、自分から「笑顔であいさつ」ができるようになっている。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	Hand-book of Life Style		事前事後 学習と その内容	スケジュールを毎回確認していくので、必ず手帳に予定を書くことを癖づけてください。スケジュール管理も社会人基礎力に欠かせないものになります。		
教材	手帳・Hand book of Life style					
特記事項	必要事項は必ずメモをとる(メモを取る習慣を身に着けよう)					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ワクワクホーム	情報がたくさんある時代に必要な情報だけをを集められるようになる。
2	就職スケジュール・履歴書・面接対策	就職スケジュールを把握し、履歴書の重要性を理解する。また面接試験のマナーを学び、自己紹介が出来るようになる。
3	自己紹介の練習	自己紹介の練習を行い、他人から見た自分の姿を把握する。
4	履歴書の書き方①	就職活動における履歴書の役割や作成のポイントを学ぶ。基本項目を書いてみる。
5	履歴書の書き方②	履歴書の免許・資格の書き方を理解し、求人票の見方を学ぶ。
6	業界研究	自分の目指す業界を研究することで、進路の方向性を決める。
7	中間試験	面接対策で今後自分に何が必要かを理解する。
8	面接対策	面接対策で今後自分に何が必要かを理解する。
9	業界研究	自分の目指す業界を研究することで、進路の方向性を決める。
10	履歴書の書き方③	履歴書のその他の項目について学び、準備をする。エントリーシートとの違いを知る。
11	面接ロールプレイ	模擬面接を行い、自分の言葉でアピールできるようになる。
12	電話のかけ方	電話のかけ方を学び、印象の良い電話対応が出来るようになる。
13	面接先や説明会会場での所作	面接先や説明会会場での所作を学び、印象の良い対応が出来るようになる。
14	就職対策	春休みの就職活動について理解し、主体的に活動するための手段を理解知る。
15	定期試験	履歴書の完成を通して、就職活動の準備を整える。

科目名 (英)	パーソナルカラー I Personal color	年次	1	実務経験	担当	黒川裕子
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	30	有	開講区分	後期
		単位	2			
講師紹介	専門学校などで色彩やパーソナルカラー検定の授業を行い、検定合格者を数多く導いています。一般向けのセミナーなどでは色を知る楽しさをお伝えしています。基本的な色彩やパーソナルカラーについて、みなさんが将来のお仕事だけではなくプライベートでも役立てるような知識をお伝えしていきます。一緒に色を楽しみながら、パーソナルカラー3級を取得を目指していきましょう。					
目的 科目概要	目的: 基本的な色彩の知識と、第一印象をよく見せてくれるパーソナルカラー(似合う色)を学び、カラーコーディネート基礎を学び、パーソナルカラー検定3級合格を目指す。 概要: パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の方法、そのもとになる色彩学の基礎をカラーワークなど実際に色に触れていながら色彩感覚を身に付ける。自分自身の似合う色の傾向を実習を通して学ぶ。					
到達目標	目的: 基本的な色彩の知識と、第一印象をよく見せてくれるパーソナルカラー(似合う色)を学び、カラーコーディネート基礎を学び、パーソナルカラー検定3級合格を目指す。 概要: パーソナルカラーの探し方や取り入れ方の方法、そのもとになる色彩学の基礎をカラーワークなど実際に色に触れていながら色彩感覚を身に付ける。自分自身の似合う色の傾向を実習を通して学ぶ。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	色彩活用パーソナルカラー3級テキスト			事前事後 学習と その内容	身の回りにはたくさん色があります。色を気にしながら見ていくことができます。色感や表現力が磨かれていき、パーソナルカラーに活かすことができるようになっていきます。授業の進行状況により、必要に応じて課題(問題集、プリントなど)を実施し、パーソナルカラーへの理解を深めていきます。	
教材	3級問題集、新配色カード199b、トーンマップ					
特記事項	はさみ、のり、筆記用具も持参してください。					

授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション、パーソナルカラーと色彩	授業内容、パーソナルカラー(似合う色)を知ることのメリットとその概要を理解する。カラーワークレッスン(色相環作成)と色の三属性について理解する。
2	色の三属性(色相、明度、彩度)、トーンCW	色彩の基本である色の三属性(色相、明度、彩度)をより深く学ぶ。トーンマップカラーワークレッスン。
3	トーン(色の調子)	トーンの考え方やしくみ、色のイメージについて理解する。身の周りの色などの色の特徴を捉えて、見分けることができるようになる。
4	パーソナルカラーの基本、4シーズンのカラーパレット	パーソナルカラーの基本を学ぶ。4シーズンの色の特徴を理解し、色分類ができるようになる。
5	色素について、色素の特徴(肌、髪、目)、色名	色素(肌、髪、目)の種類と特徴について理解する。自分の色素傾向をグループワークを通して確認する。色の名前について学ぶ。
6	似合う色と似合わない色、光について	ドレーピングでの顔映りの変化、効果と影響についてを知る。光について理解する。
7	中間試験、ドレーピング手法	1回目～6回目の授業内容を理解度の確認の試験を実施。ドレーピングでの顔映りの変化、効果と影響についてを知る。
8	対比(明度、彩度、色相)、色の影響の現れやすさ	対比(明度、彩度、色相)について理解し、色の影響の現れやすさを確認する。
9	ドレーピング実習①	グループ分けをし、実際にドレーブを使って色による顔色の変化(顔映り)を体感する。
10	ドレーピング診断結果のまとめ、似合う色の取り入れ方	ドレーピング実習を踏まえて、自分に似合う色の取り入れ方を理解する。
11	パーソナルカラー検定模擬試験	注意事項の説明、試験時間60分、ポイントのまとめ
12	パーソナルカラー検定対策	模擬試験の振り返り、検定対策
13	パーソナルカラー3級検定試験	注意事項の説明、試験時間60分
14	定期試験	前回までの授業内容を理解できているか確認試験を行う。
15	自分ブランディングプレゼンテーション	自分ブランディングについて、各自でまとめて発表する。

科目名 (英)	グローバルサービス Global Services	年次	1	実務経験	担当	NH
		授業形態	講義			
		時間数	30			
学科・コース	メイクアップ課	単位	2	開講区分	後期	
講師紹介	語学教育の経験があり、様々な学校の学生様から企業様まで幅広い世代に語学を教えております。生徒の皆さんが語学や文化に興味を持ってくれるような授業を展開していきます。					
目的 科目概要	英語：海外モデルとのコミュニケーションをとる事ができ、メイクスキルに必要な英語での表現を習得する 韓国語：言語を通して異文化理解に努め、韓国語で挨拶や身の回りの言葉を話せるようになる					
到達目標						
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 □ 実技試験 □ 作品					
教科書	English for Beauticians		事前事後 学習と その内容	自宅で予習・復習を行うこと。		
教材						
特記事項	教科書、ノート、筆記用具を持参し、配布されたプリントはファイルに取っておくこと。先生が板書した内容を丁寧にノートに取ること。積極的に授業に参加してください。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	【韓国語】 ハングルを理解しよう	ハングルを使って自分の名前を書けるようになる 身の回りのハングルを読めるようになる
2	【韓国語】 挨拶/自己紹介	自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ 自己紹介が出来るようになる 自身の仕事について紹介出来るようになる
3	【韓国語】 日常会話で使えるフレーズ	普段使える簡単なフレーズを学ぶ 簡単な意思疎通をとれるようになる
4	【韓国語】 流行しているヘアメイク	韓国コスメや流行のヘアメイクについて学ぶ
5	【韓国語】 コミュニケーションをとろう	学んだフレーズを使ってコミュニケーションを取る 韓国人のお客様と簡単な会話ができる
6	【韓国語】復習	定期テストに向けて復習を行う
7	【韓国語】中間試験	中間試験
8	【英語】挨拶/自己紹介	自己紹介・仕事を紹介する表現を学ぶ 自己紹介が出来るようになる 自身の仕事について紹介出来るようになる
9	【英語】電話対応/飛び込み客	電話予約の表現を学ぶ 電話で予約を承ることが出来るようになる 飛び込み客への対応の表現を学ぶ 飛び込み客の対応が出来るようになる
10	【英語】お客様への質問	丁寧な質問の仕方を学ぶ お客様に失礼のない質問が出来るようになる
11	【英語】道案内	道案内の表現を学ぶ サロンまでの道案内が出来るようになる
12	【英語】会計	会計の表現を学ぶ 会計をすることが出来るようになる
13	【英語】施術中	会話を続ける方法を学ぶ お客様と雑談出来るようになる
14	【英語】復習	定期テストに向けて復習を行う
15	【英語】定期試験	定期試験

科目名 (英)	ヨガ yoga	年次	1	実務経験	担当	手塚 沙也花
		授業形態	演習			
		時間数	30	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	2			曜日・時間
講師紹介	大手スポーツクラブやヨガスタジオにて、パーソナルトレーニングやヨガ・ピラティスを教えています。ヨガでは、内面と外見も美しく、調整することができます。選択科目と分野は異なりますが、美容や健康面でも必ずプラスになります。今後の役にたつよう、ヨガを楽しみながら行いましょう。					
目的 科目概要	ヨガの呼吸法で集中力を高めたり、その時々のお気持ちの調整など、セルフコントロールが出来るようになります。また、基礎体力の向上、美しい姿勢やたちふるまいを習得する為に、実技をメインに行っていきます。					
到達目標	本職を活かしていくための、たちふるまいや良い姿勢を身に付ける。 自分の体や内面を知り、心身ともにセルフコントロールする力を身に付ける。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	無		事前事後 学習と その内容			
教材	資料配布					
特記事項	毎講義に実技を行う為、開脚などの動きが出来るような動きやすい服装を準備する。					
授 業 計 画						
回数	授業テーマ		授業内容			
1	ヨガ体験、今後の講義の説明		実際のヨガレッスンを体験し、心身の体の変化を感じる。 次回からの講義を受ける際のポイントを理解する。			
2	ヨガとは？/ストレッチ・セルフマッサージ		ヨガの歴史や、効果を学ぶ。			
3	呼吸法(プラーナヤーマ)/前屈・後屈のポーズ		ヨガの呼吸法を何種類か体験する。			
4	ヨガの八支則/ピラティス体験		八つの部門からなるヨガの八支則を学ぶ。ピラティスとヨガの違いを知る。			
5	背骨・骨盤の動き/捻りのポーズ		背骨と骨盤の仕組みや、役割を学ぶ。			
6	アライメントについて、今までの授業の振り返り/ バランスポーズチャレンジ		正しい姿勢を理解し、自分の体を知る。			
7	中間試験		今まで講義の内容を理解できているか確認する。			
8	自律神経について/体側を伸ばすポーズ		自律神経を理解し、日常生活ではどのように活かせるか考える。			
9	太陽礼拝/ダイエットヨガ体験		アクティブなヨガ(パワーヨガ)の効果を知り、体験する。			
10	アロマ/リラックスヨガ体験		リラックスなヨガの効果を知り、体験する。アロマの効果を知る。			
11	マインドフルネス(瞑想)/家で出来るトレーニング		マインドフルネスを学び、日常生活に活かせるか考える。			
12	チャクラとは？/肩こり解消ストレッチ		チャクラを知り、ヨガで体感する。			
13	ヨガとトレーニング、食事について/ピラティス		ヨガとトレーニングのメリット。健康的にボディメイクする方法を知る。			
14	陰と陽について		陰と陽について知る。定期試験に向けての復習(太陽礼拝)。			
15	定期試験		全講義を受講し、ヨガについて理解できたか確認する。今後にどのように繋げるか考える。			

科目名 (英)	メイクアップ総論Ⅱ General Make up Ⅱ	年次	1	実務経験	担当	福島 裕司
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	(火3・4)
講師紹介	美容業界で20年以上関わってきました。CMや舞台、雑誌のヘアメイクなど、お客様のキレイの基準向上に取り組んでいる。セミナーや教育など様々な現場で美の提供をしながら活動している教員が、美容のスペシャリストを育成する為、美容知識、技術、経験の基礎と応用を習得する授業を行う。					
目的 科目概要	目的:メイクアップデザインに関する専門的な理論と技術を学び、メイクアップイメージを作り上げる。 科目概要:形・色彩・質感が持つイメージを学び、それを組み合わせることでメイクアップイメージを表現できることを理解する。					
到達目標	形・色・質感を変化させ組み合わせることでメイクアップイメージを作り上げることができる。 限られた時間内で様々なメイクアップを仕上げるができる。 様々なメイクアップ表現に必要な専門的な技術を習得することができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容	講義、演習がメインとなる授業となる為遅刻欠席は出来るだけせず、復習をしっかりして授業に臨んで欲しい。 美容業界は流行の流れが速い為、常に雑誌やネットで情報を調べて予習しておく事。演習後は技術の復習をし、より確実に身に着ける事が望ましい。		
教材	メイクアップ道具一式					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	オリエンテーション・メイクイメージについて メイクアップ実習	今後の説明・メイクのイメージについて メイクテクニック確認 相モデル実習
2	造形を理解する 色のイメージ	顔の造形を理解する 造形に合わせたメイクを仕上げるができる
3	曲線メイク①	メイクアップで各パーツの曲線的なラインの描き方を仕上げるができる
4	曲線メイク②	メイクアップで各パーツの曲線的なラインの描き方を仕上げるができる
5	直線メイク①	メイクアップで各パーツの直線的なラインの描き方を仕上げるができる
6	直線メイク②	メイクアップで各パーツの直線的なラインの描き方を仕上げるができる
7	中間試験 フルメイク	曲線OR直線メイク 実習
8	質感	メイクアップにおける質感ツヤとマットに見せるテクニックを身に着けることができる
9	イメージメイク① キュート	形・色・質感の組み合わせでメイクアップをキュートに作り上げることができる。
10	イメージメイク② ポップ	形・色・質感の組み合わせでメイクアップをポップに作り上げることができる。
11	イメージメイク③ フェミニン	形・色・質感の組み合わせでメイクアップをフェミニンに作り上げることができる。
12	イメージメイク④ クール	形・色・質感の組み合わせでメイクアップをクールに作り上げることができる。
13	シチュエーションを決めてデザイン① beauty	テーマを決めてメイクデザインを考えて実習
14	シチュエーションを決めてデザイン② fashion&art	テーマを決めてメイクデザインを考えて実習
15	定期試験	テーマに合わせたメイク実習

科目名 (英)	ブランド研究 I Brand research I	年次	1	実務経験	担当	イサムちゃん
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科	単位	4		曜日・時間	木3・4
講師紹介	キッズモデルからモデルキャリアスタート、後に国内海外ブランドでショップ店員また2013年からスタイリストとして活動中。雑誌やCMIに舞台など衣装を幅広くやっています。またモデル育成やウォーキング講師なども行なっている。					
目的 科目概要	目的:ブランドの歴史や時代背景を知る事が基礎知識になります。					
到達目標	ファッションブランドを知る事によって様々なクライアントのニーズとウオンツを知り、それに似合ったサービスを提供できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書			事前事後 学習と その内容			
教材						
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ブランドとファッション	ファッションブランドとブランドの違いを学ぶ。
2	シルエットとライン	シルエットとランチを知りそれに合ったファッションブランドまたブランドを学ぶ
3	アイテム名①	アイテム名を知りそのシルエットからイメージを知り学ぶ
4	アイテム名②	アイテム名を知りそのシルエットからイメージを知り学ぶ
5	トレンド&リサーチ①	トレンドをどうリサーチをするかを知り学ぶ。
6	トレンド&リサーチ②	オンラインだけじゃなくオフラインでどうリサーチをするかを知り学ぶ。
7	中間試験	中間試験
8	ファッションヒストリー①	年代別ファッションとブランドを知って学ぶ。
9	ファッションヒストリー②	年代別ファッションとブランドを知って学ぶ
10	映像とドラマ①	映像のキャラクターがどのようなファッションの影響があるかを知り学ぶ。
11	映画とドラマ②	映像からのトレンドとベーシックのベースを知って学ぶ。
12	映画とドラマ③	ファッションが人に与える影響を映像をとうして知って学ぶ
13	SNSとファッション	様々なSNSで流行ってるファッショントレンドを知って学ぶ
14	今までの復習	今までの復習と定期試験に向けて。
15	定期試験	定期試験

科目名 (英)	ヘアメイクⅡ Hair make	年次	1	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科	時間数	60	有	開講区分	前期
		単位	4		曜日・時間	金3・4
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショー など大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	ヘアスタイル・ヘアセットの技術・知識を身につける。					
到達目標	カールアイロン使用しスタイリングができる。ハーフアップスタイルができる。アップスタイルができる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	ヘアアレンジ検定テキスト・配布資料			事前事後 学習と その内容	実技授業の場合、授業前にヘアセッティングをしてください。終了後は全員で消毒と清掃を行います。	
教材	ヘア道具一式					
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	技術チェック	アイロン・カラー・編み込み・ピンニングなど技術レベルのチェック
2	アイロンテクニック①	カールアイロンを使用したスタイリング
3	アイロンテクニック②	巻き方パターン、ツイスト巻きを使用したスタイリング
4	ピンニング・ホットカラーテクニック①	ピンニング・ホットカラーを使用したスタイリング
5	編み込み表・裏・レース編み	編み込みを使用したスタイリング
6	中間試験対策 ハーフアップ①	ハーフアップスタイ
7	中間試験	ハーフアップスタイルをチェック
8	ハーフアップ②	くるりんぱ・ローブ編み込みハーフアップスタイル
9	アップスタイル①	ポニーテールパターン
10	アップスタイル②	シニヨンパターンを習得する
11	編み込みアレンジ	編み込みアレンジスタイル
12	抱き合わせ	抱き合わせスタイル
13	夜会	夜会
14	期末試験対策 アップスタイル	アップスタイル
15	期末試験	アップスタイルをチェック

科目名 (英)	トレンドメイク I Trend Make Up I	年次	1	実務経験	担当	高岸裕一
		授業形態	演習			
		時間数	60	有	開講区分	
学科・コース	メイクアップ科コスメティック専攻	単位	4			曜日・時間
講師紹介	CAA化粧品販売員検定協会、ヘアメイク事務所の代表を務め、コレクションやメイクショーなど大手ブランドにて数多くの現場経験をしている講師。					
目的 科目概要	メイクアップアーティスト・ビューティアドバイザーとして必要な技術力・知識力・販売力を身につける。CAA全国化粧品販売員検定協会ブロンズ資格を取得する。最新のトレンドメイクを学び習得する。					
到達目標	CAA全国化粧品販売員検定協会のシルバー資格を取得する。最新トレンドルックのメイクを習得する。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	CAA全国化粧品販売員検定協会公式テキスト シルバー		事前事後 学習と その内容			
教材	メイク道具一式					
特記事項	課題にてテーマ別のメイクアップ画像提出					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	自己紹介・化粧品業界の動向とブランド分析	自己紹介・化粧品業界の動向を理解しブランド分析する。デザインシート書き方
2	化粧品学(基礎)1スキンケアアイテム	基礎化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ハイブランドメイク(セルフ)
3	化粧品学(基礎)2メイクアップアイテム	仕上げ用化粧品の分類と特徴を理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ①
4	接客販売1&トレンドメイクタッチアップ	化粧品販売員の役割・心構え・ホスピタリー・身だしなみ・パーソナルスペースなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ②
5	接客販売2&トレンドメイクタッチアップ	お客様の分類・集客・売上・販売行動・アプローチ・クロージングなどを理解し習得する。実技:ポイントメイク タッチアップ③
6	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験対策	ブロンズ模擬テスト 実技:タッチアップ 色相グラデーション
7	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験	化粧品販売員検定ブロンズ中間試験
8	化粧品学(応用)1&トレンドカラー① スプリング	薬事法・化粧品成分・美白成分・最新有効成分などを習得①トレンドカラー スプリングの特徴を理解しメイクで習得する。
9	化粧品学(応用)2&トレンドカラー② サマー	品質向上・安定化成分・メイクアップ構成成分・フレグランスなどを習得②トレンドカラー サマーの特徴を理解しメイクで習得する。
10	皮膚科学1&トレンドカラー③ オータム	皮膚とは・血液リンパ・季節と肌などを習得③トレンドカラー オータムの特徴を理解しメイクで習得する。
11	皮膚科学2&トレンドカラー④ ウィンター	スキントイプ・肌のトラブルなどを習得④トレンドカラー ウィンターの特徴を理解しメイクで習得する。
12	スキンケアカウンセリング1&ヒューマンカラー	スキンケアカウンセリング手順など習得。色相:ベースカラー・明度:ライト・ディープ・彩度:ビビット・ソフト を理解し診断する。
13	スキンケアカウンセリング2&パーソナルカラー	シルバー過去問題。カウンセリングでベストカラーを導き出し、パーソナルカラーでフルメイクをする。
14	化粧品販売員検定シルバー・4シーズンカラー期末試験対策	CAAシルバー筆記試験・4シーズントレンドメイク
15	化粧品販売員検定シルバー・4シーズンカラー期末試験対策	CAAシルバー筆記試験・4シーズントレンドメイク対策

科目名 (英)	スキンケアカウンセリング I Skin Care Counseling I	年次	1	実務経験	担当	山田 優子
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科コスメティック専攻	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	水1・2
講師紹介	エステティシャンとして20年間以上に渡りフェイシャルケア、ボディケア等、様々な美容サービスを提供してきました。授業では心身を癒し肌やボディラインを整える為のノウハウを丁寧にお伝えしてゆきます。生活に役立つセルフケアの方法や、美容家として社会で活躍する為に役立つ美容の基礎知識を提供します。					
目的 科目概要	皮膚のしくみを理解し、スキンケアカウンセリング、クレンジングからフェイシャルマッサージまでの一連のトリートメントを学ぶ。 『美肌検定』に合格する為に必要な知識を習得する。					
到達目標	皮膚のしくみを理解し、正しいスキンケアやフェイシャルマッサージが出来るようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A (4.0)、89点～80点B (3.0)、79点～70点C (2.0)、69点～60点D (1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	一般社団法人日本エステティック協会:美肌検定の教科書			事前事後 学習と その内容	毎回の授業テーマと概要を理解して授業に参加する事。	
教材	適宜指示					
特記事項	毎授業の授業内容を復習し、配布プリントは保管する事。					

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	美肌とは／クレンジング	美肌の条件や自分の肌状態を知る。クレンジングの実践。
2	正しい美肌ケアの基本／ホットタオル拭き取り	正しいスキンケアを学ぶ。ホットタオル拭き取りの実践。
3	皮膚の仕組みと働き／ローションパック	皮膚の仕組みと働きについて学ぶ。ローションパックの実践。
4	美肌とホルモン／復習	美肌と関わりの深い4大ホルモンについて学ぶ。クレンジング技術の復習
5	美肌の大敵／吸引ケア	美肌を邪魔する4つの要因について学ぶ。吸引ケアの実践。
6	化粧品について／酵素ケア	お手入れに欠かせない化粧品について学ぶ。酵素ケアの実践。
7	中間試験	6回までの講義の理解度を確認する。【実技試験】
8	ボディのセルフケア／フットマッサージ	ボディのセルフケアについて学ぶ。フットマッサージの実践。
9	ボディケアとは／ボディマッサージ	ボディトリートメントについて学ぶ。ボディマッサージの実践。
10	フェイシャルマッサージ／フェイシャルマッサージ①	フェイシャルマッサージについて学ぶ。フェイシャルマッサージの実践。
11	6手技について／フェイシャルマッサージ②	6手技について学ぶ。フェイシャルマッサージの実践。
12	主要な筋肉とリンパ節／フェイシャルマッサージ③	筋肉やリンパ節について学ぶ。フェイシャルマッサージの実践。
13	フェイシャルマッサージの復習	フェイシャルマッサージの復習。
14	フェイシャルパックとは／モデリングマスク	フェイシャルパックについて学ぶ。モデリングマスクの実践。
15	期末試験	14回までの講義の理解度を確認する。【実技試験】

科目名 (英)	パーソナルスタイリング Personal styling	年次	2	実務経験	担当	エアクローゼット
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科ファッションビューティ専攻	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4		曜日・時間	月1・2
講師紹介						
目的 科目概要	日本パーソナルスタイリスト振興協会「著(TOPSS公式テキスト)」テキストを使い、ファッションプロデューサーである実務家の教員が講義をする。パーソナルな装いから顧客が望むスタイリング提案ができるように、服飾知識としての「洋服の様々な要素や見方、分析や分類」と服飾知識を知恵に転換する「ファッションコンサルティング力・言語力・伝える力」を習得する。					
到達目標	スタイリングの基本となる、シルエット、テイスト、サイズ、素材、色の影響化の理解と習得。TPOをわきまえたスタイリングイメージの構築ができ、ロジカルにプレゼンテーションを行い、アパレル業界で即戦力となることを目標とする。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の8割に満たない場合は試験を受けることができない。 {					
教科書	「基礎からわかるパーソナルスタイリング」日本パーソナル振興協会		事前事後 学習と その内容	・復習:TOPSSテキスト・宿題:テーマに沿ったコーデを作成する口		
教材						
特記事項						

授 業 計 画

回数	授業テーマ	授業内容
1	* オリエンテーション	・自己紹介・テキストの概要説明 ・ファッション知識の体系化
2	* 服の知識 P12～P24	・基本のファッションアイテム ・スタイリングマップの作成法
3	* 服の知識 P25～P34	・アパレル素材・採寸
4	* スタイル P36～P42	・基本のファッションスタイル ・イメージのつくりかた
5	* コーディーネート	・ファッション誌の見方と分析 ・ファッショントレンドのコーディネート作り方
6	* アウトフィット P52～P62	・体型の悩み解決の着こなし法とロールプレイ
7	* 中間試験	* 50問のペーパーテスト(授業テキストの内容) * コーディーネート実技
8	* TPO P64～P71	・場にふさわしい服の選び方 ・ファッションマナーの考え方
9	* 診断の種類と活用法	・診断の歴史 ・パーソナルカラー、骨格、顔、スタイルなど、診断の原理、扱い方と注意点
10	* 色P74～P86	・色彩の歴史・色の原理 ・パーソナルカラーの扱い方と注意点
11	* メンズウェアP88～P100	・メンズウェアの基本 ・スーツ、カジュアルスタイル(メンズ雑誌を使った解説)
12	* ヘアメイクSP102～P108	・ヘアメイクとファッションの組み合わせ・服に合わせたヘアメイクのアレンジ法
13	* 教養P110～P118	・ファッションの歴史 ・アパレル業界のあらし ・環境とファッション
14	* 授業の振り返り	・テキストのおさらい問題・試験対策勉強法
15	* 期末試験(TOPPSテキストより出題)	・期末試験(60分)・試験の振り返り

科目名 (英)	ファッション総合Ⅱ FashionⅡ	年次	1	実務経験	担当	殿村 雅子
		授業形態	演習			
学科・コース	メイクアップ科ファッションビューティ専攻	時間数	60	有	開講区分	後期
		単位	4			
講師紹介	木下ユミメイクアップ&ネイルアトリエ所属講師					
目的 科目概要	ジェルネイルの基本を知識として身に付け、技術や知識の手順を学ぶ。同時にアートの仕方・グラデーション・デザインなども理解しながら受講してほしい。 ジェルネイルの基礎技術を習得し、必ずジェルネイル検定初級に合格出来るよう授業を行う。その為には、中間試験と期末試験を取り入れ技術面と知識に置いてしっかり勉強し、合格基準に持っていけるよう授業に臨んでほしい。					
到達目標	ジェルネイル初級に合格できるデザインアートを勉強し身に付ける。 ジェルアートを覚えデザイン性のあるジェルネイルが施術できるようになる。					
評価方法	学則に定める評価とする。100点～90点A(4.0)、89点～80点B(3.0)、79点～70点C(2.0)、69点～60点D(1.0)、59点以下を不合格とする。()は、GPA。なお、出席率が学則に定める授業時間数の7割に満たない場合は試験を受けることができない。 ■ 筆記試験 ■ 実技試験 □ 作品					
教科書	JNAテクニカルシステムベーシックジェルネイル	事前事後 学習と その内容	技術の予習・復習をすることが望ましい。			
教材	ネイル道具一式					
特記事項	毎授業において、指示した内容は必ずメモを取る事。講義において、ノートを丁寧にとる事。					

授業計画

回数	授業テーマ	授業内容
1	ジェルネイルの基本を知識として身に付ける	【授業形態】講義・実習 【到達目標】教材確認、道具の名称、使い方をデモンストレーションで解説。ジェルネイルに触れてみる。ハンドを使用 【履修確認】小テスト2点
2	プレパレーションの重要性を学ぶ	【授業形態】講義・実習 【到達目標】プレパレーション～アプリケーショントレーニング。ナチュラルネイルのオーパーレイ、カラージェル1色塗り。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
3	ジェルネイルの基本の手順を覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】相モデルトレーニング カラージェル1色塗り 【履修確認】小テスト2点・課題点2点
4	ジェルネイル検定初級合格レベルを目指す	【授業形態】講義・実習 【到達目標】デモンストレーション。相モデルトレーニング(タイムトライアル) 【履修確認】小テスト2点
5	ジェルネイル検定初級のアートレベルを上げる	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ピーコックデモンストレーション。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
6	ジェルネイル検定初級合格レベルを目指す	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
7	中間試験	【授業形態】実習 【到達目標】ジェル検定初級内容 片手ケア・ジェルカラー赤・ピーコック 【履修確認】中間試験20点
8	ジェルネイル検定初級合格レベルを目指す	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
9	ジェルネイル検定初級直前対策	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
10	ジェルアートを覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ドラッグアート(マーブル・ピーコック)のデモンストレーション。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
11	ジェルアートを覚える	【授業形態】講義・実習 【到達目標】ドット・フラワーアートのデモンストレーション。ハンドトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
12	グラデーションの習得	【授業形態】講義・実習 【到達目標】グラデーションのデモンストレーション。相モデルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
13	ジェルネイル検定初級直前確認	【授業形態】講義・実習 【到達目標】タイムトライアル。事前確認、仕込み。相モデルで実施。 【履修確認】小テスト2点
14	デザイン性のあるジェルネイルが施術できるようになる	【授業形態】講義・実習 【到達目標】カラー・ラメを組み合わせアートする。相モデルトレーニング。 【履修確認】小テスト2点
15	期末試験	【授業形態】実習 【到達目標】両手ジェルカラー、アート 【履修確認】期末試験50点